

2022年1月21日

住友生命保険相互会社

オランダ自治体金融公庫が発行する サステナビリティボンドへの投資について

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）は、オランダ自治体金融公庫（BNG Bank N.V.、以下「BNG Bank」）が発行するオランダ国内における公営住宅の充実化を目指すサステナビリティボンド（以下「本債券」）への投資（約100億円）を決定しました。

BNG Bankは、オランダ政府および地方自治体等からの出資によって設立された公庫であり、社会課題の解決を促進するため公的セクターへ資金を供給する役割を担っています。このような融資を行うことで社会的なインパクトの創出を目指しており、オランダ国内における社会課題の解決へ貢献しています。



©BNG Bank

BNG Bankの公営住宅事業は、住みやすいコミュニティ作りやより良い住宅の供給に貢献することを目的としています。本債券はBNG Bankが策定した「サステナブル・ファイナンス・フレームワーク」※に準拠しており、調達した資金は、SDGs達成に資するオランダの公営住宅組合向けのローンに充当されます。

本債券により調達した資金は、高性能で低廉な賃貸住宅の提供に加え、公営住宅組合がよりサステナブルな住宅を建築することも推進します。オランダはパリ協定に基づき温室効果ガス排出量の削減を目指しており、公営住宅組合においても、2050年までに賃貸住宅の脱炭素化を進める方針を策定しています。

※BNG Bankが策定したフレームワークは、国際資本市場協会（ICMA）のグリーンボンド原則、ソーシャルボンド原則およびサステナビリティボンド・ガイドラインに基づいています。

【債券の概要】

発行体	オランダ住宅金融公庫(BNG Bank N.V.)
投資金額	120百万豪ドル(約100億円)
期間	10年

住友生命は、「なくてはならない」生命保険会社の実現を目指し、事業活動を通じた SDGs の達成に向けた取組みを進めています。また、責任投資（ESG 投融資およびスチュワードシップ活動）をその主要な取組みの一つとして位置づけ、持続可能な社会の実現、および、中長期での投融資を行う機関投資家にとって運用収益の向上に資するとの認識の下、責任投資に取り組んでおり、本件への投資はその一環として行うものです。

今後も、責任投資を通じ、持続可能な社会の実現に貢献していくとともに、運用収益の向上に取り組んでいきます。

【本件を通じて貢献すると想定される主な SDGs 項目】



以上